

ジャリッコ処理システム
と
UNIDOとの協力を通じた
海外展開への取り組み



アクアテック株式会社
常務取締役 藤井義隆

2012年8月28日 UNIDOセミナー

項目

- アクアテック(株)の会社概要と技術
- UNIDOとの協力関係とRio+20に参加して
- Rio+20以後の取り組み

会社概要

所在地：〒186-0004

東京都国立市中3-6-30

Tel: 042-577-7187

Fax: 042-843-0871

Email: fujii@aquatech.co.jp

設立：1988年（昭和63年）8月1日

資本金：10,000,000円

代表者：代表取締役 衛藤俊司

業務内容

- (1) 河川・池沼の水質保全・改善及び水処理にかかるとコンサルタント
- (2) ジャリッコによる河川浄化、食品工場排水処理、コミュニティ・プラント処理のコンサルタントと製造販売
- (3) 休眠胞子除去による富栄養化対策としてのリュウリハウスの製造販売
- (4) 沈澱時間短縮のリュウリタワーの製造販売

ジャリッコとは

2~3cmの碎石を樹脂で接着した直径10cmの球体を“ジャリッコ”と呼ぶ。



ジャリッコの仕様

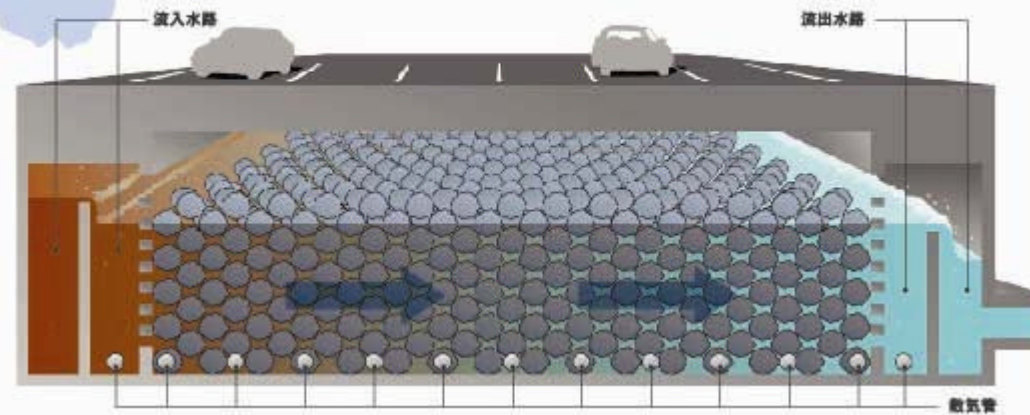
大きさ：10cm
空隙率：60%以上
圧縮強度：200kgf以上

ジャリッコの充填

1m³あたり約1400個（＝約1t）の
ジャリッコを充填する。
（通水：横流）



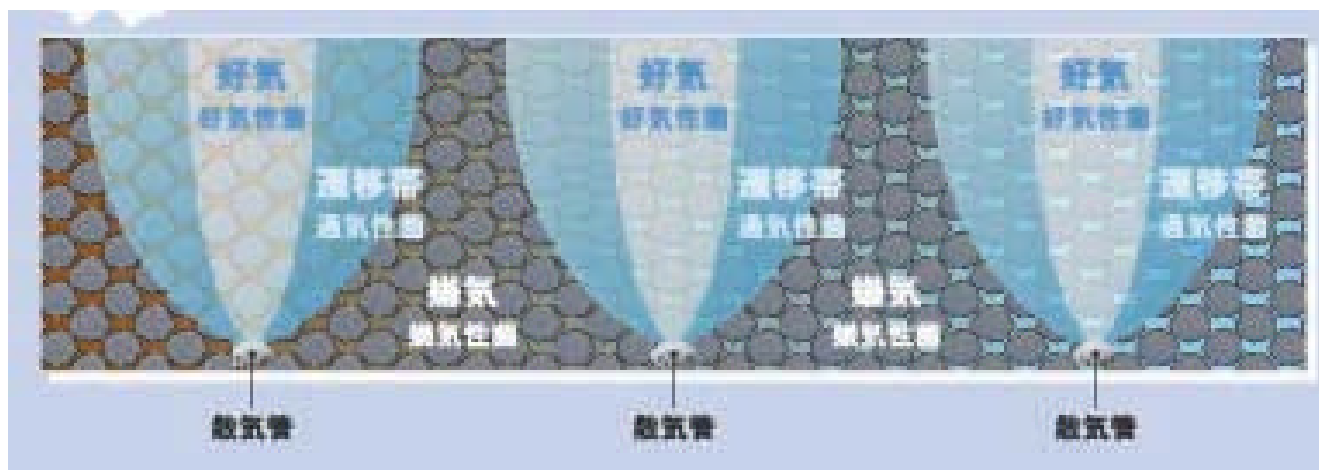
施設概要



ジャリッコ間の空隙率40%

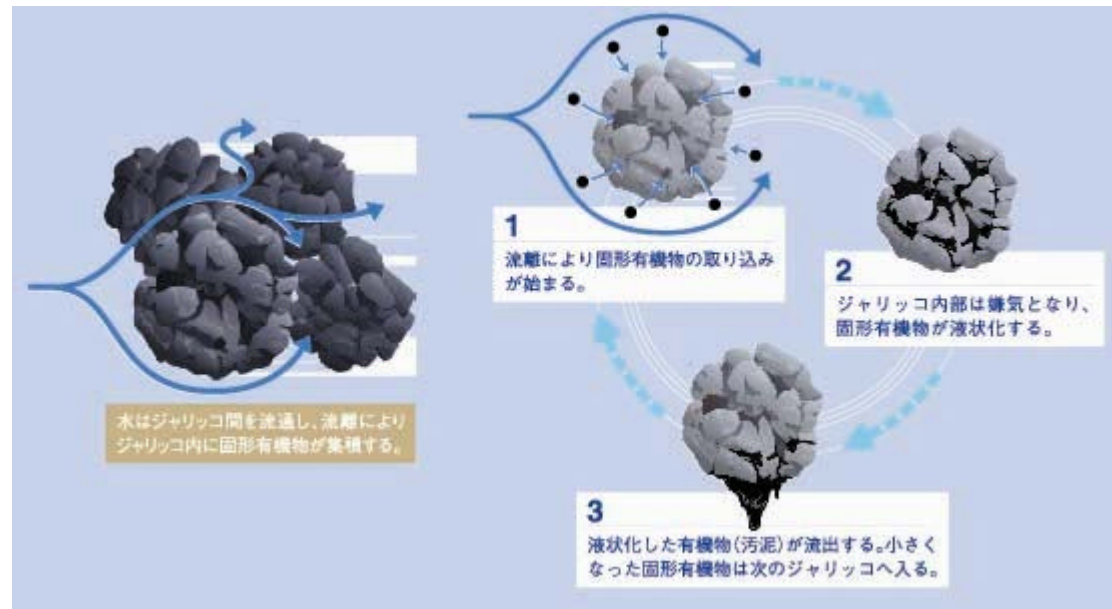
ジャリッコ処理の原理

1) 溶解性有機物の分解

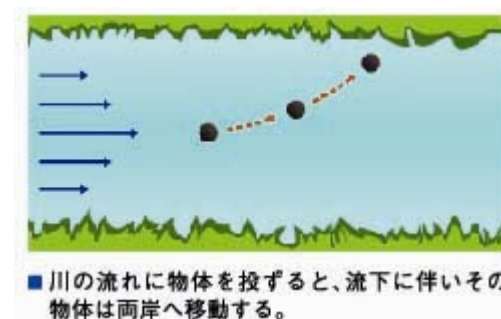


- ①溶解性有機物は好気・嫌気バクテリアによりガスと水になる。
- ②好気菌は嫌気で、嫌気菌は好気で死滅し、残った菌は流離でジャリッコに取り込まれる。

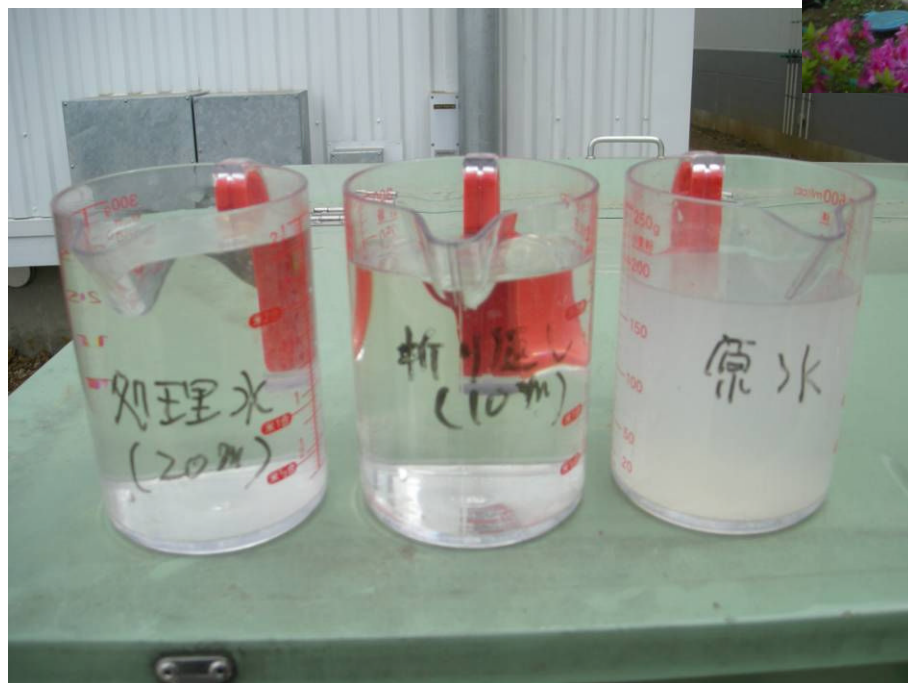
2) 固形有機物の可溶化(溶解性有機物になる)



3) 流離(流速差によって物質を分離する)



実施設と処理水



Rio+20国連持続可能な開発会議

日本パビリオン内UNIDO展示ブースの一員として参加
2012年6月18日～23日



本会議場と各国パビリオン

Rio+20



UNIDO展示ブース



参加企業とUNIDOスタッフ

Rio+20



ブースでの説明

Rio+20



プレゼンテーションとネットワーキング

Rio+20に参加して

- (準備)
 - 英文パンフレット、パネル用原稿、説明資料(アクアテック)
 - 展示パネル、技術紹介冊子、DVD、ブース設置(UNIDO)
- (訪問者)
 - 名刺交換、引合シート記入 80人／6日間
- (フォロー)
 - 訪問者にお礼メールを発信、8件の返信メールあり
(ブラジル・アルゼンチン・エジプト・スリランカ・JICAブラジルなど)

Rio+20の印象

- 海外での展示(国際会議の華やかさ)
 - UNIDOの協力
 - 日本能率協会の協力
 - 各国の官ルートへのアプローチ
- コミュニケーション力と発信力
- 現物展示とパネルの利用
- 相互の情報交換の必要性
- UNIDOの世界ネットワーク

Rio+20以後の取り組み

- 情報発信（進行中の案件紹介・見学会、展示会の情報など）
- UNIDOとの連携、情報共有、相談
- 海外拠点づくり



アクアテック(株)

御清聴ありがとうございました。